



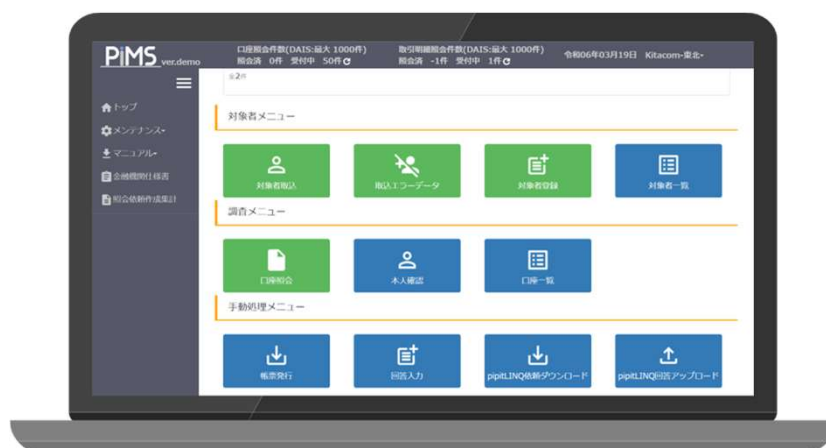
預貯金等調査と「PiMS」のご紹介

財産調査ワンストップサービス PiMS
(ASPコード A831171)

- 目次
1. 預貯金等調査の電子化が進む背景
 2. 預貯金等調査の電子化により発生する課題
 3. 製品紹介
 4. ご利用事例
 5. よくあるご質問

PiMS（ピムス）とは？

預貯金等の照会業務における電子化を支援し、デジタルベースの業務最適化を実現する行政機関向けのLGWAN-ASPサービスです

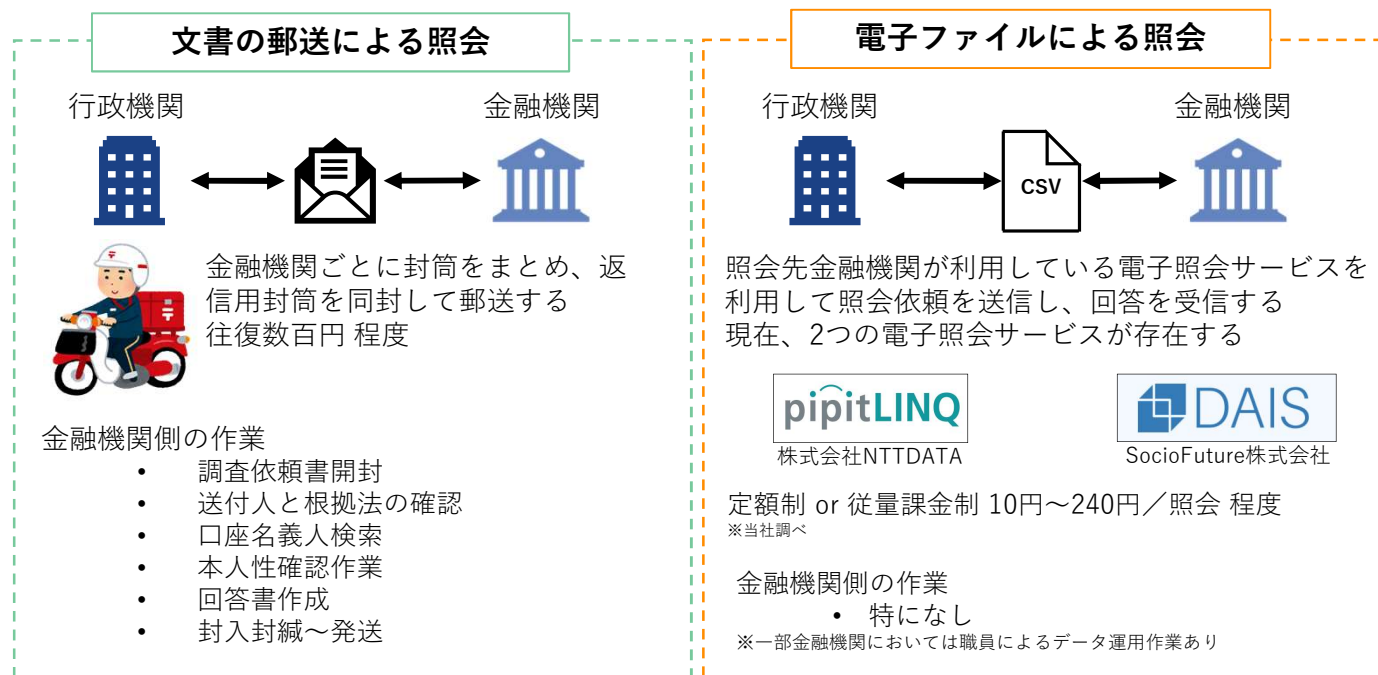


※掲載の画面はご提供のシステムと異なる場合があります。

預貯金等調査の電子化が進む背景と課題

預貯金等の調査において、これまで行政機関からの調査依頼及び金融機関からの回答は共に紙を媒体に行われてきましたが、金融機関では膨大な作業が発生するため負担となっていました。そのため、金融機関では人件費削減のため電子化を進めています。これに伴い、行政機関には従来の紙帳票での照会から電子照会への切り替えについて協力が求められています。

滞納整理業務や生活保護業務における預貯金等の調査に有用な電子照会サービスの登場と利用上の課題



※pipitLINQ（ピピットリンク）は、株式会社NTTデータの登録商標です。

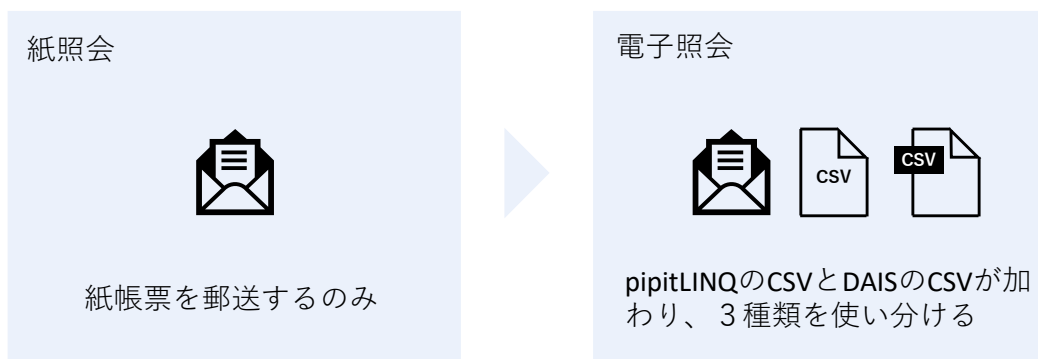
※DAIS（ダイス）はDeposit Account Inquiry Systemの略称で、SocioFuture株式会社の登録商標です。

	郵送照会	電子照会	電子照会の特徴
金融機関からの口座情報回答スピード	×	◎	紙の場合金融機関からの回答に数週間を要していた。電子照会の場合は翌日～数日中に回答を得られるため、「滞納者の来庁予定に合わせて最新の口座情報を取得する」「生活保護申請に対し2週間以内に預貯金等の有無の確認を行う」などが可能になる
照会依頼作成作業の難易度	○	×	照会先金融機関が採用している電子照会サービスを利用し、金融機関ごとの照会ルールや取り扱い文字の仕様書を参照してCSVファイルを作成する必要がある
回答された口座の本人性	○	△	金融機関が定める検索条件によって機械的に処理された結果により他人の口座情報が回答されることがある
情報の管理	○	△	回答情報（個人情報）の取得～廃棄までの管理手段と業務フローを新たに整える必要がある

電子照会を正しく活用するためには、「電子データの取り扱いを前提とした新しい業務フロー」の検討が必要となります。PiMSは継続的に機能や操作性を見直し、行政機関の理想的な預貯金等照会業務の実現をサポートしています。

預貯金等調査の電子化により発生する3つの課題

課題 1



これまでは紙帳票で金融機関へ照会していました。これからは紙帳票に加え2種類のCSVファイルも使用して金融機関へ照会することになります。



増える手間

最大で3種類のファイルを作成することに

金融機関ごとに電子化未対応、pipitLINQ利用、DAIS利用のいずれかを確認し照会ファイルを作り分ける必要があります。調査対象者1人について複数の金融機関へ照会が必要な場合、最大3種類のファイルを作成しなければいけません。

最新情報の把握も必要

ファイル作成前に、金融機関ごとの電子化対応状況を確認する必要があります。地域外の金融機関へ照会が必要な場合に都度確認することは負担になります。



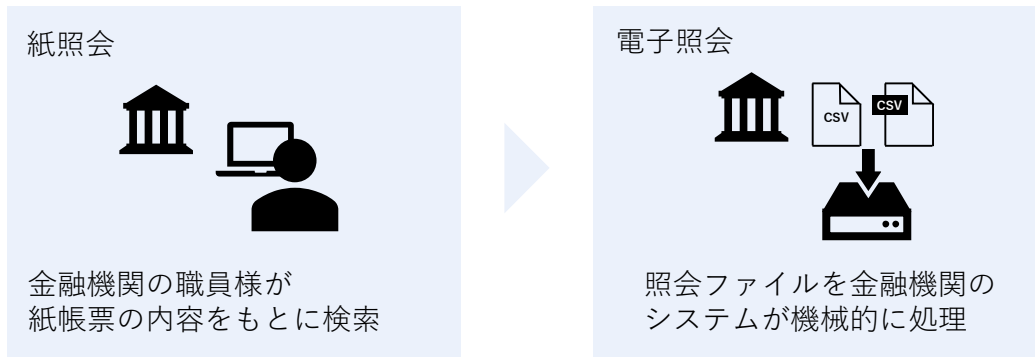
PiMSで解消

照会先の金融機関ごとにファイル種類を自動で判別して生成します。

(CSVファイルと紙帳票の自動判別 特許第6796847)

預貯金等調査の電子化により発生する3つの課題

課題 2



これまでは紙帳票の記載情報をもとに、本人のものと思しき口座情報を金融機関の職員様が検索していました。これからは照会ファイルの情報をもとに、該当条件にマッチする口座情報を金融機関のシステムが検索しますので、人を介さない機械的な処理となります。



増える手間

金融機関ごとに存在する複雑な処理ルール

金融機関のシステムにはそれぞれCSVファイルの処理ルールが存在します。ルールは、全角半角や大文字小文字の許容可否、法人口座の照会可否、法人格の表し方（「株式会社」「か」など）、外字の取り扱いルール…など多岐に渡り複雑です。また、住所情報を検索キーにしている金融機関への照会では、ひとりの照会対象者について複数の氏名と複数の住所を組み合わせた照会依頼情報を作成する必要があるなど、口座の有無の判断までに必要な照会パターンに注意が必要となっています。

照会ルールの違いに適切に対応しないと…

金融機関毎の検索条件等による回答結果への影響を十分に理解せずに電子照会を利用すると、本来は口座が存在するのにヒットせず、回答として得られない可能性があります。

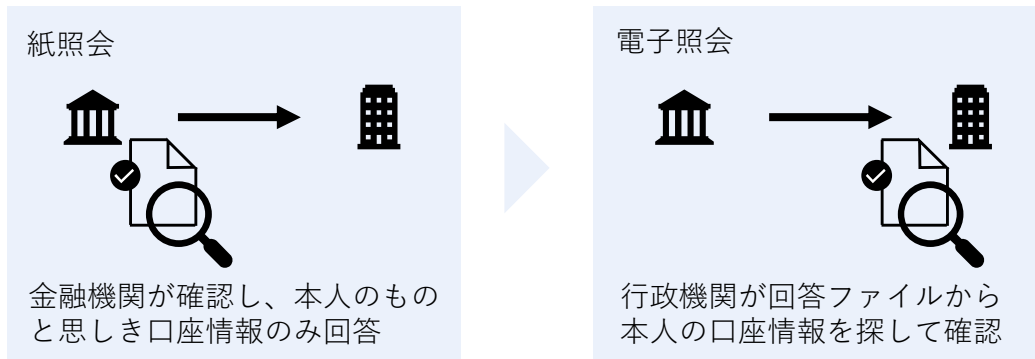


PiMSで解消

金融機関ごとの処理ルールに対応した照会ファイルを自動生成します。

預貯金等調査の電子化により発生する3つの課題

課題3



これまでは金融機関の職員様が検索結果を確認し、本人のものと思しき口座情報のみを回答してくださっていました。これからはカナ氏名と生年月日など金融機関が定める検索条件によって機械的に処理された結果がすべて返ってきます。※一部の金融機関を除く



増える手間

大量の回答情報から調査対象の口座を特定

これからは検索にヒットした口座情報全てを回答としてCSVファイルで受け取ります。回答データの中には調査対象者のものではない口座情報が含まれることがあり、個人情報の適切な取り扱いの観点から、調査対象者のものではない口座番号や残高などを見てしまう前に選別が必要です。

データの適切な管理

個人情報である回答データを、CSVファイルのまま保管することはリスクがあるため、適切に管理する方法が必要です。



PiMSで解消

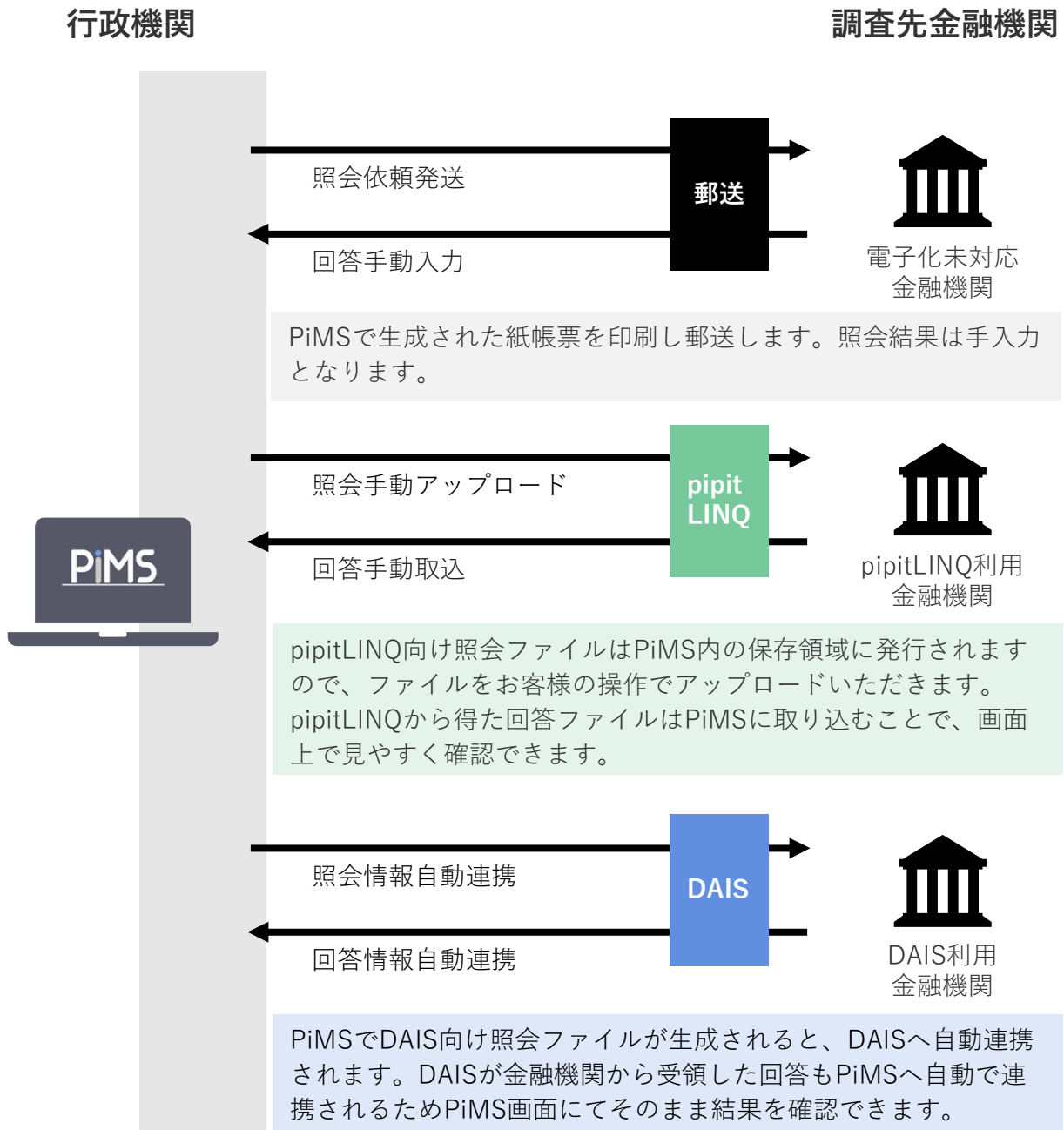
PiMS内の対象者情報と回答情報を照合して一致度を提示。

承認／削除ボタンの簡単操作で安全に管理できます。

(同一人判定支援機能 特許第6796847)

製品紹介

運用イメージ



DAIS自動連携機能のご利用ではDAIS従量利用料が発生します。
料金やお支払いなど詳しくはSocioFuture株式会社までお問い合わせください。

SocioFuture株式会社 DAISヘルプデスク (平日 9:00 - 16:00)
TEL : 03-5819-0972
E-Mail : mls_dais@scft.co.jp
URL: <https://www.scft.co.jp/dais/index.html>

※DAIS自動連携機能のご利用をご希望されない場合、DAIS利用金融機関を照会先として選択すると紙の照会帳票が出力されます。

※ゆうちょ銀行等、DAIS・pipitLINQ双方に対応している金融機関用の照会依頼ファイルを、DAIS、pipitLINQのどちらのフォーマットで出力するかはマスタメニューにて設定することが可能です。

PiMSでの電子照会 操作手順

1. 対象者情報の登録

対象者データを滞納管理システム等から移行する場合はCSV取込、1件ずつ登録する場合は手動で行います。

対象者登録

管理番号

調査対象者名

任意 通称名

任意 旧姓

生年月日

任意 担当者

調査対象者名 (加)

任意 通称名 (加)

任意 旧姓 (加)

属性

性別

住所区分

郵便番号

住所

No data to display

0件

戻る

登録

2. 照会ファイルの作成

根拠法令、対象者、照会先金融機関を選択しファイルを作成します。
(照会先金融機関に対応した照会ファイルが自動生成されます。)

照会先グループ

共通照会先G

照会先機関名

機関名を入力してください

支店

支店名を入力してください

検索

電子照会対応機関でも、【利用制限中】や【仕様確認中】の機関は紙で処理されます。

照会先機関選択

照会対象

全選択

全削除

照会内容確認

3. 照会



4. 回答受け取り



5. 本人確認作業

登録された対象者情報と回答情報を照合し、一致度が表示されます。

The screenshot shows the '本人確認' (Self-confirmation) screen in the PiMS system. It features a search form with fields for '管理番号' (Management Number), '宛名_氏名 (漢字)' (Recipient Name - Kanji), '宛名_生年月日' (Recipient Date of Birth), '承認状況' (Approval Status), '照会依頼日' (Inquiry Request Date), and '回答取込日' (Answer Import Date). There are also checkboxes for '3点一致' (3-point match), '優先' (Priority), '次点' (Second point), and '次々点' (Third point). Below the form is a table with columns: '承認' (Approval), '回答取込日' (Answer Import Date), '照会依頼日' (Inquiry Request Date), '金融機関名' (Financial Institution Name), '管理番号' (Management Number), '氏名漢字' (Recipient Name - Kanji), '氏名カナ' (Recipient Name - Kana), and '生' (Birth). The table contains three rows of data, each with a checkbox in the '承認' column.

承認	回答取込日	照会依頼日	金融機関名	管理番号	氏名漢字	氏名カナ	生
☐	2024/06/25	2024/06/25	みずほ銀行	102866959	江口 文昭	エグチ フミタカ	
☐	2024/06/11	2024/06/10	秋田銀行	13900021	佐藤 花子	サトウ ハナコ	
☐							

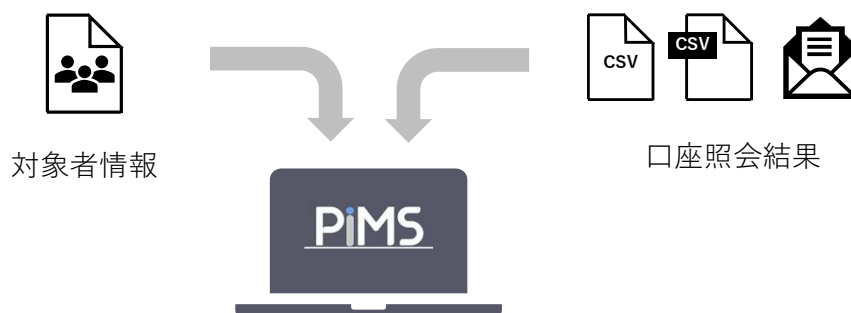
6. 回答情報の確認

PiMSに回答情報が集約され、画面ですべての照会結果を確認できます。

The screenshot shows the '回答情報の確認' (Check answer information) screen in the PiMS system. It displays a table with columns: '生年月日' (Date of Birth), '更新日' (Update Date), '属性' (Attribute), '口座照会状況' (Account Inquiry Status), '取引明細照会状況' (Transaction Detail Inquiry Status), '照会先金融機関名' (Inquiry Financial Institution Name), '店名' (Store Name), '店番' (Store Number), '口座種別' (Account Type), and '口座残高' (Account Balance). The table contains 10 rows of data, each with a checkbox in the '属性' column.

生年月日	更新日	属性	口座照会状況	取引明細照会状況	照会先金融機関名	店名	店番	口座種別	口座残高
023/12/05	2025/02/12	個人	口座あり	明細あり	みずほ銀行	広島駅前支店	003	普通	1830572
985/02/05	2025/02/12	個人	口座あり	明細あり	PayPay銀行	広島駅前支店	003	普通	1830572
990/04/01	2025/01/30	個人	口座あり	明細あり	りそな銀行	広島駅前支店	003	普通	1830572
023/12/05	2025/01/30	個人	口座あり	明細あり	りそな銀行	広島駅前支店	003	普通	1830572
989/02/09	2024/08/12	個人	口座あり	明細あり	秋田銀行	取引B支店	101	普通預金	4231082
989/02/09	2024/06/27	個人	口座あり	明細あり	秋田銀行	1	001	空口座	98765765
023/10/13	2024/06/11	法人	口座あり	明細あり	秋田銀行	天理支店	005	普通預金	1382343320
980/01/01	2024/06/11	個人	口座あり	明細あり	秋田銀行	天理支店	005	普通預金	1382382630
989/02/09	2024/06/10	個人	口座あり	明細あり	秋田銀行	取引B支店	101	普通預金	4231082
946/12/08	2024/06/10	個人	口座あり	明細あり	秋田銀行	取引B支店	101	普通預金	4231082

対象者情報と口座照会情報を電子化して一元管理



「PiMS」は電子照会作業のサポート機能だけではなくデータ管理機能の側面も持ち合わせています。対象者情報や口座照会結果など自然に関連情報が集約され、電子データでの一元管理を実現します。

滞納管理システムに預貯金情報を登録すると、一人一人の対象者画面を開くまで預貯金情報が分からなくなります。PiMSでは預貯金情報を「残高〇万円以上」「明細情報のあるもの」など任意の条件で表示させることで、業務を効率的に進めていただけます。

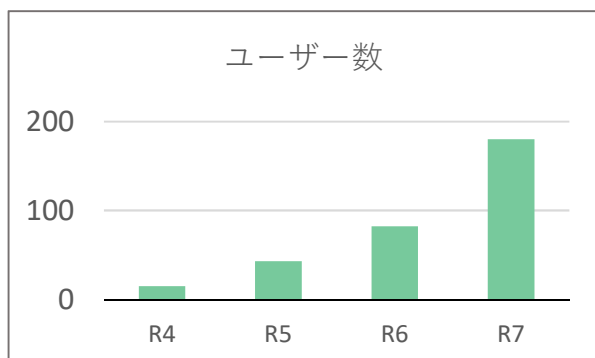
検索機能で欲しい情報がすぐに見つかる

- | | | |
|----------------------|-------|-------------|
| 照会予定者の一覧を作成して決裁に回したい | ————> | ステータスで絞り込み！ |
| この対象者の照会履歴を確認したい | ————> | 調査対象者名で検索！ |
| 先週照会した分の進捗を確認したい | ————> | 照会依頼日で絞り込み！ |
| 担当分の照会データを一覧で確認したい | ————> | 担当者で検索！ |

様々な条件で検索できるため、求めている情報をピンポイントで抽出できます。口座残高でも検索でき、滞納業務では差し押さえ対象となるか、生活保護業務では受給対象となるか、判断材料にすることも可能です。

ご利用事例

導入団体



ユーザー様の声

金融機関ごとの仕様に合わせて何度もファイル作成するのは大変な作業。チェックも必要でロスが大きく、この作業がなくなるため、PiMSは決して高くはないと考えている。

“誰がやってもできる”という「作業の均質化」を目的に導入したが、現状満足している。

PiMSひとつで全てに対応した照会依頼を作成でき、作成状況も確認できる。また、情報を集約できた。

金融機関の電子化状況を覚えたり、照会依頼ファイルの作成方法を習得したりするための時間的なコスト等が軽減されていると思う。

製品サイトには詳しい導入事例を掲載しています。

<https://pims-for-lg.com/case>



「PiMS」は、利用者様と共に機能や精度を向上させています

これからの財産調査業務に弾力的に対応するためアジャイル手法で開発しています。利用団体様のご意見を参考にさせていただき機能アップするなど随時仕様変更を行います。各金融機関の指定条件のほか、口座判明率に関係する情報を利用団体様よりご提供いただき精度を向上させるなど、より多くの団体様にご利用いただくことで利便性・利益を共有していただける仕組みとなっています。ユーザー目線で開発された各種機能に大変ご好評をいただいています。



取込データレイアウトマッピング機能がすごい！

すっきりした画面と操作性で直感的に操作ができる！

ファイル数自動最適化は本当に助かる！

本人確認プロセスを確立できた！

個人情報の取り扱いツールとしても秀逸！



よくあるご質問

Q このサービスの契約はどのような形態ですか？

A 月額固定の利用料です。従量課金などはありませんので安心して
お使いいただけます。

Q PiMSを利用する職員が複数の場合、利用料は上がりますか？

A 何名の職員様でお使いいただいても利用料は変わりません。
LGWAN端末の設置状況などに合わせて利用形態をご検討ください。

Q 預貯金等調査対象者のCSVデータ形式の指定はありますか？

A いいえ。PiMSにはユーザーが取り込みたいデータのレイアウトを登録
する機能があります。業務システムの改修は不要です。

Q バージョンアップなどの計画はありますか？

A はい。金融機関の電子化対応状況への対応や機能強化を独自に行うほか、
ユーザ様の声を取り入れた操作性向上などを行います。

Q 1 対象者に、旧姓や通称名、複数の住所を登録することはできますか？

A はい、可能です。1 対象者について、旧姓や通称名、複数の住所を用い
た口座照会依頼データの作成が可能です。

Q 初期費用はおいくらですか？また、導入作業はどのようなものですか？

A 初期費用は一切ありません。SE作業もなく、利用申込みの約 2 か月後
から利用料のみでご利用いただけます。

Q 自治体システム標準化後に改修費用などは発生しますか？

A いいえ。PiMSはあらかじめ標準仕様を考慮して設計されています。
また、バージョンアップにおいて費用を頂戴することはありません。

Q LGWAN端末に指定のソフトウェアなどをインストールする必要はありますか？

A インストールいただくものは有りません。
ブラウザのみでご利用いただけます。



財産調査ワンストップサービス PiMS

(ASPコード A831171)

会社名	北日本コンピューターサービス株式会社
設立年月日	昭和44年5月19日
代表者職氏名	代表取締役 江畑 佳明
資本金	1,000万円
売上高	62.2億円（令和6年9月期）
従業員	231名（令和6年9月30日現在）
所在地（本社）	秋田県秋田市南通築地15番32号
（事業所）	札幌市、仙台市、さいたま市、大阪市、福岡市
事業概要	生活保護システムの開発、保守 滞納管理システムの開発、保守 LGWAN-ASPサービス提供

お問い合わせ



pims-mrkt@kitacom.co.jp

メールでお問い合わせください。
件名を「【資料請求】団体名課名より」としてください。



<https://pims-for-lg.com/>

サービスサイトでは導入事例など詳細情報を確認できます。



販売店情報欄